

令和3年度 第1回帯広市社会教育委員会議 議事要旨

- 1 日 時 令和3年8月23日(月) 18:30~20:00
- 2 会 場 帯広市役所 10階 第6会議室
- 3 出席委員 朝倉 洋一、中山 江里子、平田 昌弘、矢野 充、鳴海 亮、松田 信幸、
池田 健一、出村 行敬、岸田 智子、川岸 仁、久保田 博己、
重田 裕亮、金谷 洋子、村上 博子
(以上14名、敬称略)
- 4 事務局 帯広市教育委員会教育長 池原 佳一、生涯学習部長 井上 猛、
生涯学習部参事 葛西 克也、生涯学習文化課長 藤原 理恵子、児童会館
館長 渡邊 誠克、児童会館係長 高田 裕之、生涯学習文化課生涯学習
係長 大橋 由幾、生涯学習文化課生涯学習係主任 米林 史哲、
生涯学習文化課生涯学習係係員 土田 百花
(以上9名)
- 5 講 師 十勝教育局教育支援課社会教育指導班 田尾 和祐 氏
- 6 会議次第
 - (1) 委嘱状交付
 - (2) 挨拶 帯広市教育委員会 教育長 池原 佳一
 - (3) 開会
 - (4) 正副委員長の選出
 - ・委員長 鳴海 亮(再任)
 - ・副委員長 久保田 博己(再任)
 - (5) 講話「社会教育委員の役割について」
 - (6) 議事
 - (7) 閉会
- 7 議事要旨
 - (1) 協議事項 帯広市社会教育委員会議の今後の進め方について
事務局より説明。
〈意見・質問なし〉
 - (2) 報告事項
事務局より説明。
ア. 「帯広市岩内自然の村」の方向性の検討について

○事務局

「帯広市岩内自然の村」の方向性について、検討に至った背景や想定ケースごとによる比較検証、主な聴取意見、今後の検討作業について説明。

○委員

帯広市内で、ほかにキャンプができる施設はあるのか。

○事務局

スノーピーク十勝ポロシリキャンプフィールドがある。

○委員

利用者もおり、できるだけ継続の方向で考えてほしい。改修する所が多いと多額の費用がかかり採算が合わないと思うが、キャンプ場など、費用をかけずに施設を残すことはできないのか。

○事務局

今後中長期的に利用するには、施設の老朽化によって、耐震工事などの大規模な改修が必要となる。キャンプ場のみ残す場合でも、緊急時などに備えて管理人の配置が必要になる。

○委員

建物のある場所を更地にしてキャンプ場のスペースを作り、設備を水道など最小限にして費用を抑え、施設の一部を維持できないものか。

○事務局

岩内仙峡は引き続き園路など観光部署で管理を続けていく。岩内自然の村の建物・土地については様々な活用方法があると思うので、民間の事業者に意見をもらい、この自然豊かな場所を活用できるよう提案募集を行っていく。

イ. 大会、研修等に関する報告について

事務局より説明。

〈意見・質問なし〉

ウ. その他

事務局より説明。

○委員

帯広市の市民に広く情報を伝え、また、市民からの情報を広く収集できるような、地域

づくりに役立つ SNS のシステムを作ってみてはどうか。また、そのためのアイデアを社会教育委員会議で検討してみてはどうか。

○委員長

地域には様々な年代、国籍の人がいて情報ツール一つを取っても、適した方法が異なる。その中の一つとしてこれからの世代に向けた ICT の活用は大切である。今後も様々な意見を出し合い、活発な会議にしていきたい。

以上